



Chitose Institute of Science and Technology

公立千歳科学技術大学報

PUBLICITY PAPERS

2020 3/1

Volume

50

第21回稜輝祭(大学祭)を開催しました。

- 2P トピックス
CIF'20千歳科学国際フォーラムを開催しました
- 3P トピックス/コラム
地域社会と科学技術の対話の場
～オープンサイエンスパーク千歳～
- 4P 高大連携・地域連携
ビジネスEXPOに出展しました
- 6P 就職・キャリア支援
「企業と大学の情報交換会」を開催しました



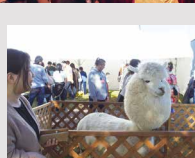
第21回稜輝祭(大学祭)を開催しました

10月20日(日)、稜輝祭実行委員会主催による第21回稜輝祭(大学祭)を開催しました。本学の大学祭は毎年異なるテーマにより開催されてきましたが、今年は公立大学法人化後最初の大学祭となるため、新たなスタートに期待を抱いてもらえるよう願いを込めて「ReStart」となりました。

イベントは軽音楽部ステージ、ストリートダンス部のパフォーマンス、YOSAKOIソーラン演舞、理科実験、ペーパークラフト教室等と例年の企画に加え、今年は似顔絵描きを行う企画を増やしました。学生主催の模擬店も例年より多く出店され賑わっており、来場されたお客様も楽しませていました。稜輝祭の開催にあたり多くの皆様にご来場いただき、また企画・運営等各方面において多くの方々にご支援・ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。



YOSAKOIソーラン演舞の様子



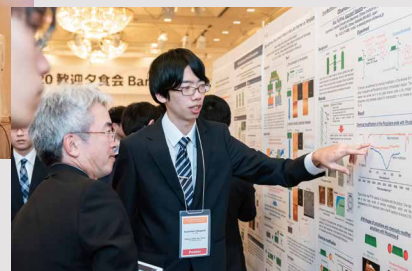
移動動物園の様子



カードゲームの様子

CIF'20千歳科学国際フォーラムを開催しました

10月14日(月・祝日)、ホテルグランテラス千歳にて「第20回千歳科学国際フォーラム」を開催しました。今回のフォーラムでは、公立千歳科学技術大学が提唱する地域貢献プログラム「Smart Nature City ちとせ」について地域の皆様とともに広く議論を進めていきたいと考え、メインテーマを①「持続可能な社会に向けた自然との共生の知恵<北方圏の交流>」と②「命とくらしを守るまちづくり ~「いつもの便利」と「もしもの備え」~」といたしました。午前の国際会議CIFセッションでは、テーマ①について、専門家による招待講演を中心としたセッションとポスター発表を行い、午後はテーマ②について、千歳ゆかりの講演者による講演とパネルディスカッションを行いました。



令和元年度保護者懇談会を開催しました

10月26日(土)、本学において令和元年度保護者懇談会を開催しました。今年は午後1時より開始し、学長挨拶に続いて「全体説明会」を開催し、キャリアセンター長より現在の就職状況について説明を行いました。

その後事前に申し込みされた「就職支援会社による講演」「学習・生活個別相談」「就職個別相談」に分かれていただき、それぞれの内容について日頃不安に思われていることや学業成績、大学生活の状況等について担当教職員が学生一人ひとりの様子について説明いたしました。



教員免許状更新講習推進機構(KAGAC) 調印式を執り行いました

平成28年度から東京学芸大学・愛知教育大学・千歳科学技術大学の3大学で運営を行ってきた教員免許状更新講習推進機構(通称:KAGAC)の連携校に令和2年度から大阪教育大学が参画することになりました。

これにより令和2年度から、東京学芸大学・愛知教育大学・大阪教育大学・公立千歳科学技術大学の4大学で教員免許状更新講習推進機構(通称:KAGAC)を運営するにあたり、令和元年10月4日(金)10時からKKR東京11階鳳凰の間において、4大学による調印式を執り行いました。



進路のミカタLIVE札幌会場・ワク！WORK！学校祭に参加しました

9月25日(水)、26日(木)につど一むで開催された「進路のミカタLIVE札幌会場・ワク！WORK！学校祭」に参加しました。本学は個別相談コーナーと体験型コーナーに出展し、体験型コーナーでは本学の学生プロジェクト理工工房の学生が活動を紹介しました。会場には2日間で7,020名が来場し、本学のブースにもたくさんの方の高校生にお立ち寄りいただきました。



川瀬正明理事長・学長が功労表彰を受章しました

川瀬正明理事長・学長は、千歳市の公平委員会委員長及び委員として、平成17年から12年間、公務員制度の本旨に基づく身分保障と公正な人事行政の確立に努めるとともに、適正な勤務条件の確保を図ることにより職員一人ひとりの職務の専念を推進するなど、地方公共団体の民主的で能率的な運営を実現し、市政の安定と発展に寄与しました。その功績から、11月1日(金)に開催された令和元年度千歳市表彰贈呈式において功労表彰(自治功労)が授与されました。



コラム 第2回

地域連携センターについて

地域社会と科学技術の対話の場～オープンサイエンスパーク千歳～

現代の科学技術は、めざましく展開しています。一方で、資源、エネルギー、環境など、現代社会が抱える喫緊の問題は様々な課題を抱えており、科学技術だけで解決することは不可能です。そのためには、社会と科学が対話し一緒に問題解決する、トランス・サイエンスという考え方が不可欠です。

地域における“知の拠点”である公立千歳科学技術大学では、サケのふるさと千歳水族館、まちライブラリー@千歳タウンプラザの協力のもと、トランス・サイエンスの場である《オープンサイエンスパーク千歳》を開催しています。

千歳の強みである“豊かな自然がもたらす生態系サービス(水・緑・温泉)と交通アクセス”と、科技大の研究成果を融合した「スマート ネイチャー シティちとせ(SNC)」構想の実現に向けて、市民、企業、行政など様々なステークホルダーとの対話を通じて地域の現状を把握し課題を抽出するとともに、科学技術と科技大の役割を考える場なのです。

昨年度は『持続可能なパッケージングからインバウンド、国土強靱化まで』を主題として、三つのサブテーマをとりあげ、現状と課題について意見交換をいたしました。

- パッケージング、資源回収、マイクロプラスチックから考える循環型経済
- 着氷雪防止とインフラ整備
- インバウンドと国土強靱化

また、小・中学生を対象に次世代人材育成の一環として、千歳水族館と科技大キャンパスにおいて豊かな自然と先端科学技術に触れる体験コースを開催しています。



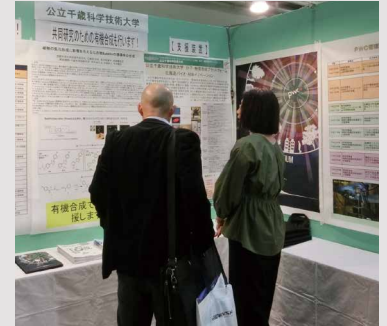
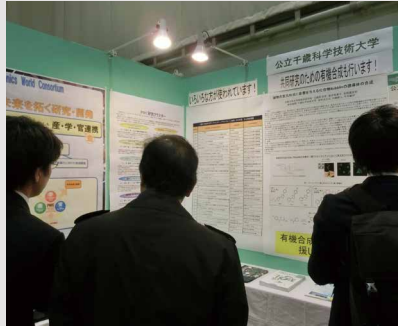
特任教授・地域連携センター
副センター長 下村 政嗣



詳細は特設サイトをご参照ください。 <https://snc.chitose.ac.jp/osp.html>

ビジネスEXPOに出展しました

11月7日(木)、8日(金)の2日間にわたり、アクセスサッポロ(札幌市)にて開催された北海道最大級のビジネスイベント「第33回北海道技術・ビジネス交流会」(通称ビジネスEXPO)に出展しました。本学からは、2012年度から文部科学省の採択事業である「ナノテクノロジープラットフォーム事業」について出展し、本学にて利用可能な機器の紹介や産学官の研究者に対して行っている総合的な支援等について活用事例の紹介を交えながら説明しました。今年度は330の企業・団体が出展し、2日間の来場者数は21,703名と大盛況でした。



市立札幌開成中等教育学校が プレ先端科学特論を本学で実施しました

10月12日(土)、13日(日)の2日間にわたり、市立札幌開成中等教育学校の3年生(中学3年相当)と4年生(高校1年相当)の計39名が本学に来学し、同校設定科目の「プレ先端科学特論」の一環として、大学の授業を体験しました。同校は文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けており、「プレ先端科学特論」は、大学や研究機関の研究者による講演等を通して、先端科学技術に興味・関心をもち、科学的教養を身につけることを目的として設定されている科目です。当日は、「光の波動性を探る」と「光変色反応」の2つのテーマについて実験授業を実施し、光の色と波長についての実験や、スピロピラン化合物を使用した光変色反応の実験を行いました。実験の様子を写真に撮って記録したりするなど、どちらのテーマについても皆さん熱心に取り組んでいました。



北海道追分高等学校の 皆さんが来学しました

12月3日(火)、高大連携校である北海道追分高等学校2年生の皆さんが来学し、電子光工学科 長谷川誠教授と理工工房による、大学の紹介と理科実験講義を受講しました。実験講義では、紙コップと偏光フィルム、セロテープを使ってオリジナルの万華鏡を作成しました。作成した万華鏡を隣同士で交換して見比べてみるなど、皆さん楽しみながら実験に取り組んでいました。



青少年のための科学の祭典 千歳大会に理工工房が参加しました

11月10日(日)、北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)にて「青少年のための科学の祭典千歳大会2019」が開催され、本学からは理工工房が参加しました。同大会は科学技術の楽しさや面白さ、発見の喜びや感動を一人でも多くの青少年に体験してもらうことを目的として、千歳市においては2006年から始まり、2019年に14回目を迎えました。当日は19団体(高校、高専、大学、企業、市民団体など)が出展し、千歳市及び近隣地域から約2,900名の方々が来訪しました。実験・観察ブースでは、たくさんの児童・生徒が実験や工作などに取り組んでいました。また、視聴覚室では本学の理工工房がサイエンス教室(「味覚のふしぎ」)を実施し、こちらもたくさんの方々にご参加いただきました。



オープンサイエンスパーク千歳 「支笏湖デザインプロジェクト発足記念講演会」を 開催しました

12月3日(火)、支笏湖ビジターセンターにてオープンサイエンスパーク千歳「支笏湖デザインプロジェクト発足記念講演会」を開催しました。当日は、「王子軽便鉄道(山線)の歴史について」、「ドローンで広がる支笏湖の世界」、「仮想現実ARが広げる支笏湖と千歳市」などさまざまな講演が行われ、約40名の方にご参加いただきました。また、昔の洞門や支笏湖のイメージを立体的な映像として表現した作品がVRゴーグルを用いて披露されるなど、最新技術によって支笏湖の魅力を体験する場面もありました。オープンサイエンスパーク千歳はどなたでもご参加いただけます。



詳細については<https://snc.chitose.ac.jp/c/all/event>をご確認ください。
■支笏湖デザインプロジェクト特設HP: <https://shikotsu-dp.org>

第2回光テクノロジー応用懇談会において本学教員が講演しました

11月26日(火)、千歳アルカディア・プラザにて本学と特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)が共催する「第2回光テクノロジー応用懇談会」が開催され、本学から、山林由明教授、Olaf Karthaus教授、河野敬一客員教授の3名が講演しました。当日は22名の方が集まり、それぞれの講演に耳を傾けていました。

■講演テーマ:

「公立千歳科学技術大学地域連携センターの概要」
情報システム工学科 教授 山林 由明
「ナノテクノロジープラットフォーム事業の概要」
応用化学生物学科 教授 Olaf Karthaus、客員教授 河野 敬一



山林 由明 教授



Olaf Karthaus 教授



河野 敬一 客員教授

研究・学生活動

教員及び学生が「研究会優秀賞」を受賞しました

本学の教員及び学生が一般社団法人教育システム情報学会「研究会優秀賞」を受賞しました。

この賞は、平成30年度教育システム情報学会研究会において特に優秀であると認められた研究発表に送られるものです。

受賞した研究発表は、学生ごとの習得状況の差が生じるプログラミングの科目の中で、クラス全体の知識・スキルの習得度を、発表者らが開発してきたeラーニングシステムのレベル判定テスト(CBT: Computer Based Testing)と授業課題の到達度を使って毎回の授業で把握・判断し、授業進度を調整する手法を提案・実践したものです。

Javaプログラミングの授業で、学生の習得状況の底上げ効果を示したことで、高い有効性を持つ意欲的な発表内容として評価をされました。



左から小松川教授、川瀬学長、山川専任講師、上野さん

■受賞者(著者):

山川広人(理工学部 情報システム工学科 専任講師)
上野春毅(大学院 光科学研究科 光科学専攻 博士後期課程 3年)
小松川浩(理工学部 情報システム工学科 教授)

■論文名:

CBTを活用した反転型授業のJavaプログラミング授業での実践

学生が公益社団法人高分子学会「優秀ポスター賞」を受賞しました。

本学の学生(下記2名)が公益社団法人高分子学会「優秀ポスター賞」を受賞しました。

この賞は、第68回高分子討論会において特に優秀なポスター発表者に送られるものです。



発表題目

微細突起構造を有する加硫ゴム表面の摩擦特性

■受賞者: 植村 駿さん
(大学院光科学研究科光科学専攻博士前期課程2年)



発表題目

ウパオの吸盤を模倣した接着表面材料の開発

■受賞者: 大滝 晋平さん
(大学院光科学研究科光科学専攻博士前期課程1年)

学生が北海道起業家甲子園2019で特別協賛企業賞を受賞しました

12月7日(土)に行われた北海道起業家甲子園2019に、本学の情報システム工学科から2チームが出場し、それぞれ特別協賛企業賞を受賞しました。

■特別協賛企業賞受賞チーム

「パナソニック システムソリューションズ ジャパン賞」

チームかもめ

YOSAKOIソーラン祭りとインターネットを繋げ、アプリを用いてYOSAKOIソーラン祭りを更に楽しみ快適にする情報発信を行うことで観客やリピーターを増やしていくビジネスプランを考え、スマートフォンアプリを提案しました。



情報システム工学科3年生
生川恵さん、澤岡勇太さん、
中山慎吾さん、松田恒輝さん、
紅葉勇実さん

「NTTドコモ北海道支社特別賞」

チームBreakin'

ストリートダンサーの技術向上のための交流の場が不足しているという課題解決をビジネスプランとして考えました。ダンスの初心者と上級者をつなぎ、無料のアドバイスとレッスン講座の販売を組み合わせた交流の場を提供する情報システムを提案しました。



情報システム工学科3年生
乾 史留さん、城 裕太郎さん、
野村 昇平さん、山内 祐さん

北海道起業家甲子園2019について

北海道起業家甲子園2019は、総務省北海道総合通信局、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)、一般社団法人北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会が主催する、ICT(情報通信技術)を活用したビジネスプランのコンテストです。

北海道におけるICTベンチャーの担い手となる人材の育成・発掘を目的としたコンテストで、起業セミナーによるスキルアップやメンタリングを経験した学生達が、ビジネスプランを競い合います。本年度受賞したチームの学生達は、自分たちの身の回りの課題を題材にして、授業外の課外活動として情報系のスキルアップに挑戦するプロジェクトメンバー活動の経験なども生かしながら発表に望みました。参加した学生の皆さんのさらなる活躍に期待します。

「インターンシップ成果報告会」を開催しました

インターンシップ成果報告会を、10月8日(火)、15日(火)の2回にわたり、本学で開催しました。この成果報告会は、学生が夏休み中に参加したインターンシップでの学びをまとめ、報告する場として例年開催しております。令和元年度は、学部3年生118名が68事業所でのインターンシップに参加し、参加率は59.6%となりました。

この報告会には、受入事業所のご担当者様にもご参加いただいております。今年度は、両日あわせて47の受入事業所より81名の皆様がお越しくださいました。報告会では、企業の皆様を中心に、多くの質問や意見をいただくことで、学生はさらに学修を深めることができました。

なお、報告会実施にあたっては、本学の4年生がティーチングアシスタントとして、3年生の発表資料の作成や練習を1ヶ月以上にわたりサポートし、また、報告会当日は各教室での司会進行も担当しました。

また両日とも、第二部として、参加事業所の皆様にご協力いただき、学生との「意見交換会」を本学学生ホールにて実施しました。ここでは、学生が実際にインターンシップを行った事業所だけでなく、他の事業所の皆様とも忌憚なく対話をする中で、これから本格化する就職活動や社会人としてのあり方などについて、参加された事業所の皆様から貴重なお話をいただくことができました。また、学生も積極的に質問するなど、大変有意義な時間となりました。なお、意見交換会の開催にあたっては、本学同窓会のご協力をいただきました。



成果報告会の様子



意見交換会の様子

■2019年度 インターンシップ受入先

アイコムシステック株式会社、株式会社I・TECソリューションズ、株式会社イクスギ、株式会社インサイトテクノロジー、Vineyard Works株式会社、株式会社上田商会 千歳工場、株式会社エスイーシー、NPO法人 ezorock、エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社 札幌支店、株式会社NTT東日本-北海道、株式会社エフビーエス、株式会社エム・ソフト、及川産業株式会社、大森機械工業株式会社、長田電機工業株式会社、株式会社カミン、キリンビール株式会社 北海道千歳工場、クオリサイトテクノロジー株式会社 北海道開発センター、クローバー電子工業株式会社、株式会社三技協イオス、株式会社シー・シー・ダブル、株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア、陣上工業株式会社、株式会社積水化成品北海道、株式会社ダイナックス、株式会社ダイヘン 千歳工場、千歳印刷株式会社、社会福祉法人千歳市社会福祉協議会、千歳市役所 観光スポーツ部交流推進課、千歳市役所 建設部電気設備課、千歳市役所 認定こども園つばさ、千歳市立向陽台小学校、千歳市立桜木小学校、千歳市立高台小学校、千歳市立図書館、千歳市立北栄小学校、千歳市立北斗中学校、千歳市立緑小学校、中央コンピューターサービス株式会社、株式会社つづけん、DIC北日本ポリマ株式会社、株式会社TBK 福島工場、東芝ホクト電子株式会社、東洋熱工業株式会社、札幌支店、株式会社東和コンピュータマネジメント、日興電気通信株式会社、日本アルゴリズム株式会社、株式会社ニッポンダイナミックシステムズ、一般財団法人日本食品分析センター 千歳研究所、株式会社ネクス、株式会社ハイマックス、函館エヌ・ケー株式会社、株式会社芙蓉ビデオエージェンシー、株式会社プリンガ、北海道ガス株式会社、北海道中央葡萄酒株式会社、北海道日興電気通信株式会社、学校法人北海道立正学園 旭川実業高等学校、株式会社牧野技術サービス、美和電気工業株式会社、武蔵エンジニアリング株式会社、株式会社モノリス、株式会社もりもと、株式会社山三ふじや (五十音順/敬称略)

「企業と大学の情報交換会」を開催しました

企業と大学の情報交換会を東京・札幌の2会場で開催しました。10月30日(水)に東京ガーデンパレス(201社258名参加)および11月12日(火)に札幌ガーデンパレス(137社180名参加)にて開催しました。

第1部の大学紹介では、本学の様々な取り組みや就職状況等について説明を行いました。また、札幌会場ではインターンシップ参加学生による成果報告会も行いました。第2部の情報交換会では、参加企業の皆様と本学教職員との活発な意見交換が行われました。今年度も両会場とも多数の企業様にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

当日のプログラムは下記の通りです。

【第1部】

- 学長挨拶(学長 川瀬 正明)
- 大学紹介
 - ・大学紹介(学部長 山中 明生)
 - ・就職状況について(キャリアセンター長 吉本 直人)
 - ・(札幌会場のみ)インターンシップ参加学生による成果発表
 - ・教職員紹介

【第2部】 ●名刺交換会 ●個別相談会



若年求職者向け就職支援セミナーを開催しました

「若年求職者向け就職支援セミナー」を本学で開催しました。この事業は千歳市および千歳工業クラブ(第2回のみ)と共催で実施しております。

第1回は、10月25日(金)に株式会社青山プロダクション 代表取締役の青山夕香さんを講師にお招きし、「行動心理学を身につけて相手と上手に付き合う」と題して、ご自身の体験されたエピソードを元に、あいさつや返事、相手に対する気遣い等のコミュニケーションから仕事に対するマインドについてご講演いただきました。参加者からは「何か行動をおこすにあたって前向きに考えようと思った」「やはり仕事を楽しんでいることが一番大切であると改めて感じた。そして行動することも大切だと思った」、「人との関わり方の心得を聞いて良かったです。これからの学生生活や社会人生活で活用できると感じました」など、前向きな感想が寄せられました。

また、第2回は、11月15日(金)に株式会社エヌ・ケーエンジニアリング 代表取締役の興村俊弥さんを講師にお招きし、「生物多様性と自己実現」と題して、自己実現に向けてSDGsやリスクマネジメント等、多角的な視点からご講演いただきました。参加者からは「就職後の実体験に加え自然環境のことなど様々なことを聞くことができとても参考になった」「企業などの組織で、自分がどのような姿勢で仕事や周囲の人々と向き合うかの参考になりました」「社会人として身につけるべきことや、学生のうちにやっておけることなどを知ることができたのでとても良い講話でした」という感想が寄せられました。



第1回 青山夕香さん

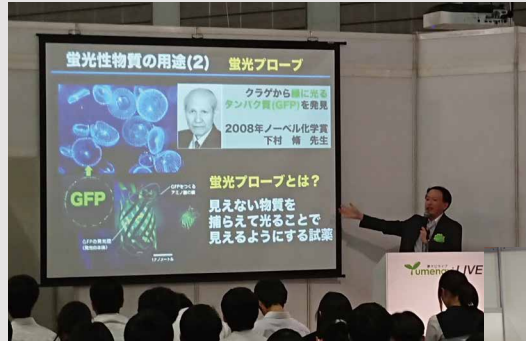


第2回 興村俊弥さん

入試情報

夢ナビライブ2019仙台会場に参加しました

10月5日(土)、夢メッセみやぎで開催された、高校生を対象とした「夢ナビライブ2019仙台会場」に参加しました。「夢ナビライブ」とは、学びたい学問を見つけ、そのイメージを明確にしたり、進学に関して気になる事を大学関係者に直接質問し、大学について説明を受けることができ、極めたい学問の発見から学べる大学との出会いまでを一度に体験できるまたとないチャンスイベントです。当日は10,150名の来場者がありました。本学からは、応用化学生物学科 オラフ・カートハウス教授、坂井賢一准教授の2名の先生が講義を行い、大勢の受講者が集まりました。また、本学の相談ブースにも多くの高校生や保護者が来訪し、熱心に本学の魅力や特徴について説明を受け、質問する姿が見られました。



「色鮮やかな光をつくる化学の魅力」
応用化学生物学科 准教授 坂井 賢一

「コーヒークラを作ろう！ブースで試食可！」
応用化学生物学科 教授 Olaf Karthaus



オープンキャンパスへのご参加ありがとうございました

2019年度のオープンキャンパスは6月16日(日)の第1回を皮切りに、10月まで計4回開催し、延べ905名の高校生や保護者の方々にご参加いただきました。オープンキャンパスでは、模擬講義や研究室見学、在学生との交流会、アトリウムイベント等、様々なプログラムを実施し、明るく元気な学生スタッフが、皆さんをおもてなしました。

2020年度の開催内容、申込みの開始時期については、大学ホームページ等でご案内します。



2020年度 オープンキャンパス日程

第1回 6/14(日) | 第2回 8/1(土)・8/2(日) | 第3回 10/4(日)

時間 10:30~15:15(予定)

※オープンキャンパスへのご参加は大学ホームページからの事前申し込みが必要です。



10月20日(日) 校輝祭



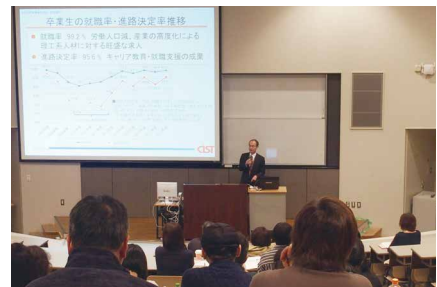
10月20日(日) 校輝祭



10月14日(月・祝日) CIF'20 千歳科学国際フォーラム



12月3日(火) オープンサイエンスパーク



10月26日(土) 令和元年度 保護者懇談会

奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。ご寄附いただいた皆様へ感謝の意を表し、ご芳名を掲載させていただきます。(敬称略、50音順)

公表を希望されない寄附者様につきましては、「外匿名希望〇名」という形で掲載させていただきます。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただきますようお願いいたします。

■寄付者ご芳名(2019年10月1日から2019年12月31日まで)

阿部 安希子 安藤 広美 金川 直人 川合 敏雄 白瀬 公信
田岡 真典 藤原 伸保 正田 真琴 水山 辰也他
ほか匿名希望の方14名

敬称略

本学へのご寄附のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄附に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



大学公式!

←カーギー

本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。ときどきミニ・カーギーと学外に飛び出して学生の活動をご紹介します。Twitter、Instagram どちらもIDは@cistkoho で検索ください。

Twitter、Instagram どちらもIDは@cistkoho で検索ください。

TwitterとInstagramで情報発信中!

?カーギーとは?

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーティガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田(かぎた)ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探求すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげる事も多い。



Twitter



Instagram